

Title ノズル径より薄い壁の造形

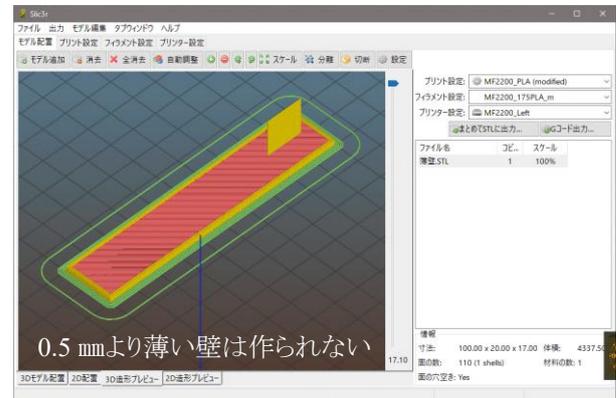
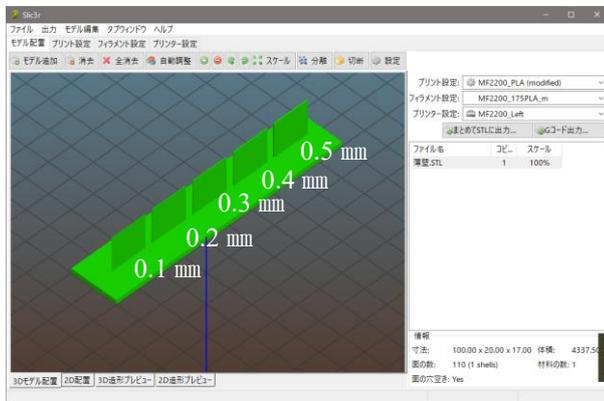
発信日 2025/8/19

No. 42

1/2

STL データで薄い壁を造形しようとする、データ自体が作られないことがあります。通常、ノズル径より薄い壁は、Gコードデータにはなりません。

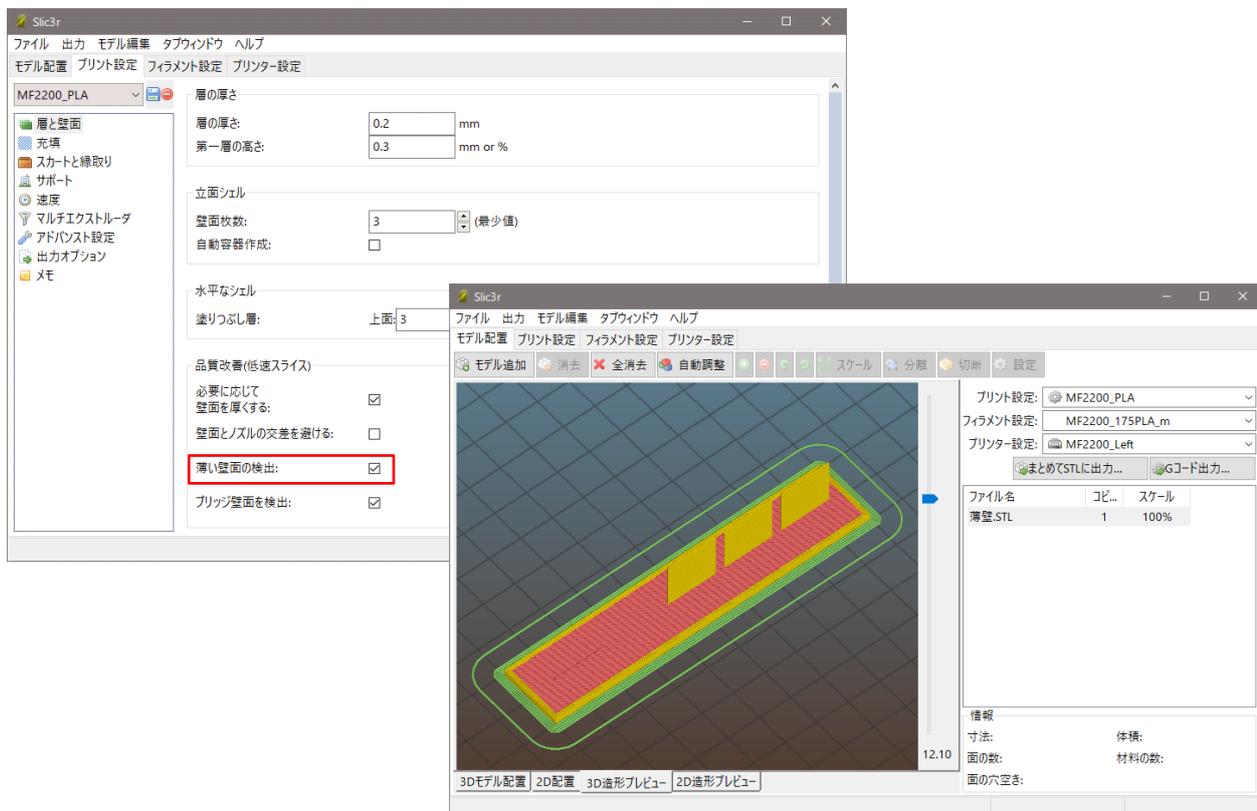
<ノズル先端径 0.5mm の場合>



但し、スライスソフトによっては、設定を変えることで、ノズル径より薄い壁のデータをノズル径と同じ幅の一枚の壁として造形することができます。以下にその設定方法を説明いたします。

○Slic3r (1.2.9)

Slic3r の場合、多少薄い壁であれば、「プリント設定」タブ「層と壁面」カテゴリの下の方にある「薄い壁面を検出」にチェックを入れることで、薄い壁のデータを一枚の面として造形できます。薄さには限度があります(ノズル径の半分程度)。ここは設定により、既にデフォルトでチェックが入っています。



○Cura2

Cura2には、ノズル径より薄い壁に対応する機能はありません。ノズル径より薄い壁はデータとして作ることができません。

Title ノズル径より薄い壁の造形

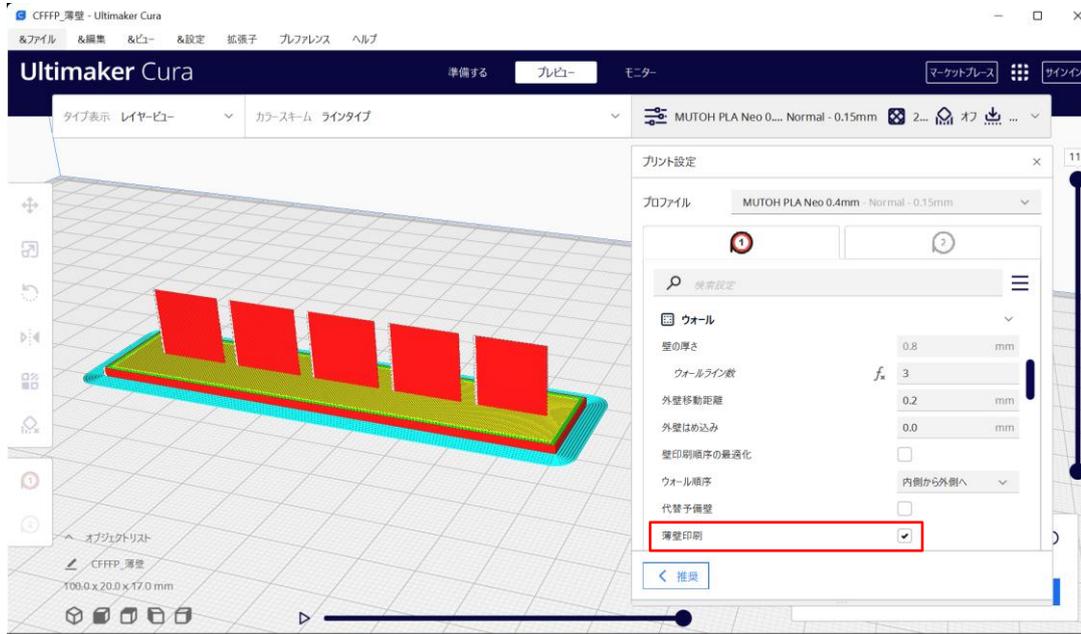
発信日 2025/8/19

No. 42

2/2

○Cura 5.2.1

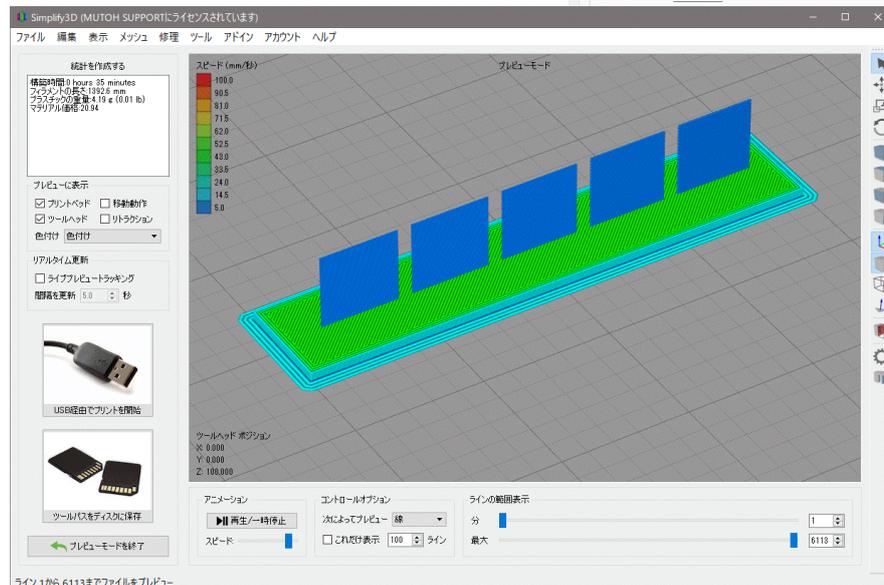
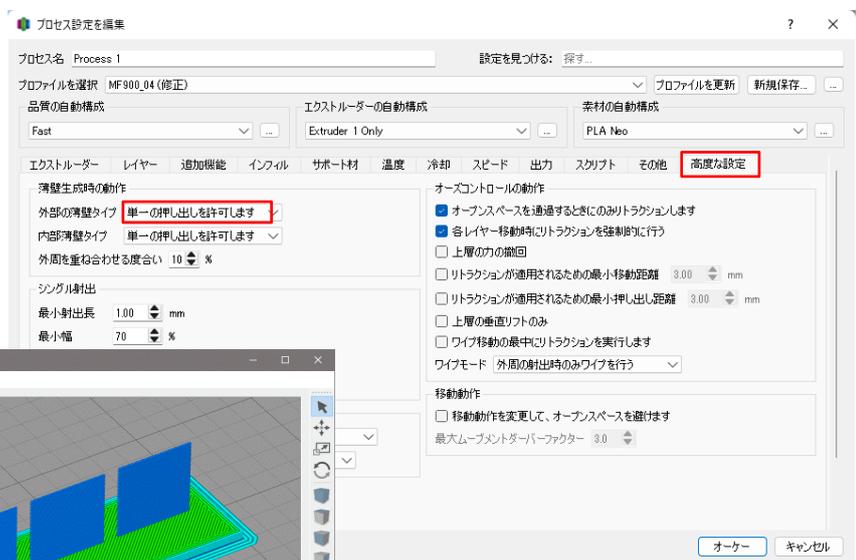
MF-900で使用するCura5.2.1では、Expertモード以上で「ウォール」カテゴリにある「薄壁印刷」をオンにします（通常、デフォルトでオンになっています）。薄さに限度はあります（ノズル径の1/10程度）。



○Simplify3D

Simplify3D V5では「プロセス設定を編集」から「高度な設定」タブを選び、左側の「外部の薄壁タイプ」を「外周のみ」→「単一の押し出しを許可します」に変更します。これで0.5mm以下の壁も1枚で作成します。薄さに限度はあります（ノズル径の1/10程度）。

（Simplify3D V4の場合は左側の「外面薄壁タイプ」を「外周プリントのみ」→「1周のみの壁造形を許可」に変更します）



以上